

わおん

第75号

2025年1月発行

新年号

〒370-0016

群馬県高崎市矢島町449-2
駒井病院 地域連携室

TEL 027(352)6100
FAX 027(352)6217

「わおん」とは、いくつもの違う音が重なり1つの美しい音を作る“和音”。
連携もこうありたいとの願いです。



謹賀新年

目頃より医療法人社団 醫光会 駒井病院
和光園ならびに関連施設へのご理解とご協
力を賜りまして心より御礼を申し上げます。

本年も職員一同、法人の理念「やさしさ、
やすらぎ、いきがいに出会える病院・施設」を
目指して頑張って参りますので、どうぞ
よろしく願い申し上げます。

院長 平松 範行



『新年の抱負』

駒井病院スタッフ2025年の決意表明！

駒井病院に昨年新たな仲間として加わり、様々な職種で活躍している職員から新しい年の抱負を聞きました。

病棟1階



吉澤 美咲(看護師)

4月から看護師として働き始めた時は、新しい環境や実際の臨床現場に戸惑い、慣れることに精一杯でしたが、分からないことや困ったことなどをすぐに相談できる環境でとても有り難かったです。しかし、看護する中で知識不足を痛感し、勉強し続けなければならないと日々感じています。

今後は看護師としてのスキルアップはもちろん、基本的な知識、技術を身につけられるよう精進していきます。



病棟2階



深井 悠登(看護師)

駒井病院に入職して約半年が経ちました。入職時は、療養や透析に関して知識不足もありましたが、新しい環境の中で知識や経験を積むことができ、やりがいを感じています。

今年には看護師としてのスキルアップだけでなく、日々の業務の中で患者様に対し、安心して治療が受けられるよう努力していきます。また、多職種との協力・連携も必要なため、今後関わっていききたいと思います。

地域連携室



師長 片所 由紀子
(感染管理認定看護師)

新年、明けましておめでとうございます。駒井病院へ異動となり半年がたちました。

地域連携という新たな部門での業務に、日々やりがいを感じています。

患者様が安心して入院できるよう、患者様、ご家族様の気持ちに寄り添うことを大切にするとともに、院内の職員だけではなく、地域の医療機関や介護施設との連携を大切に、日々努力していききたいと思います。

リハビリテーション科



安達 佳歩(理学療法士)

4月より理学療法士として働き始めて半年が経ちました。患者様との関わり方や状態に応じた介入方法の選択で苦戦する場面もありますが、心身機能改善により患者様の喜ぶ姿を見ることができ、もっと頑張ろうと励みになります。

今後は理学療法士として専門知識を深め、日々の臨床経験や先輩方から学んだことを活かし、自信をもって介入を行っていきけるよう成長していきたいと思っています。

総合サービス課



課長 福家 信行

総合サービス課へ令和6年6月に異動となり半年が経ちました。病院での業務は初めてでしたので、何も知らない中、皆様のご指導のもと色々なことを学ばせていただきました。

今年には昨年より職員の皆様の支えになれるよう、今以上に多くのことを学び、依頼されたことに対し即応できるようになれればと考えています。

『未知を既知に変える』を今年も胸に刻んで業務にあたりたいと思います。



紙オムツの適切な使い方や排泄についての知識を習得するために

紙オムツや排泄についての知識を習得し、患者様方の排泄ケアに活かすための資格であるアテントマイスター・プロ。7回目となる今年も、駒井病院・和光園および関連施設の看護職員・介護職員合計9名が受講し、資格を取得しました。

アテントマイスターの研修を受け、紙オムツの正しい使い方や排泄についての新たな知識を得ることができました。入院されている患者様のほとんどが紙オムツを使用しているため日常的に排泄について考える場面は多くありますが、研修に参加するまでは自分の感覚でオムツやパッドの選定をしていました。さらに尿量が多い



患者様の場合は、パッドを複数枚重ねたり、大きいパッドを使用したりするなど工夫しているつもりでいました。しかし今回の研修を通して、それがかえって隙間漏れの原因となることやパッドの厚みによる不快感に繋がってしまうことを学びました。正しくパッドを当てることはもちろん、患者様の体格やADL、排泄パターンに合わせてオムツやパッドを選定することで、漏れを未然に防ぐことができ、患者様の負担軽減にも繋がることがわかりました。

今回の研修で学んだことを部署内で共有しながら、今後の業務で活かしていきたいと思います。

病棟1階 星野 未来(看護師)



のぞいて見よう 駒井病院

今、わたしたちが備えること～非常時に備えて炊き出し訓練を実施～

当院は幸い大きな災害に見舞われていませんが、各地で地震や大雨などの災害が増加しています。今後も温暖化や気候変動の影響により自然災害が予想されます。当院では災害発生時に備えて、定期的な訓練を行っています。

令和6年12月5日に炊き出し訓練を実施しました。災害発生時、栄養科職員が不在であっても食事の準備ができることを目的とし、地震により電気・ガス・水道不通、職員召集不可という想定で行いました。食事準備が円滑に行えるよう貯水槽場所、備蓄水・食料保管場所を巡視し、受水槽操作手順や非常食調理を体験しました。

当院では各部署にBCP(事業継続計画)が設置されており、非常時の食事提供に関しても、各災害レベルに応じた対応と1日3食を基準とした9食分の予定献立が記載されています。この災害時予定献立はどの職員でも食事提供が可能のように作成しています。今回の訓練は栄養科以外の職種が協力し、普段馴染みのない長期保存食・α化米を調理する貴重な機会となりました。

災害が増えている昨今、いつどういった状況で起こるか分からない非常時の不安を少しでも取り除けるよう、全職員が災害対策を意識していけたらと思います。

栄養科 柳澤 隼人(管理栄養士)



一般外来

休診日…土日祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
内科	9:00～12:30 (受付12:00まで)	中野	檜原	駒井 中野	佐野(敏)	檜原
整形外科	14:00～17:00	-	佐野(潔)	-	-	-

特殊外来<ご予約制> ☎ 027-329-7755(受付直通)

休診日…土日祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
腎不全外来	15:00～17:30 (受付17:00まで) ※要予約	平松	平松	-	-	-
不眠症外来		-	駒井	-	岡本	-
精神科外来		-	駒井	-	岡本	-
物忘れ外来		-	駒井	檜原	岡本	檜原

透析センター

診療科	開始時間	月	火	水	木	金	土
外来透析	午前の部 9:00～	○	○	○	○	○	○
	午後の部 14:30～15:00	○	休	○	休	○	休

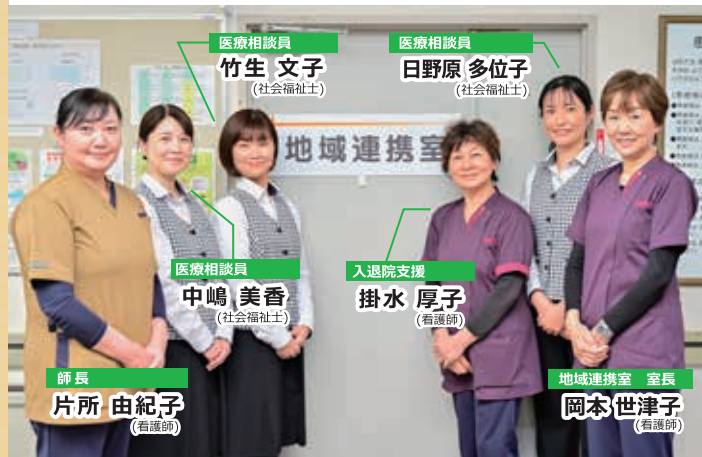
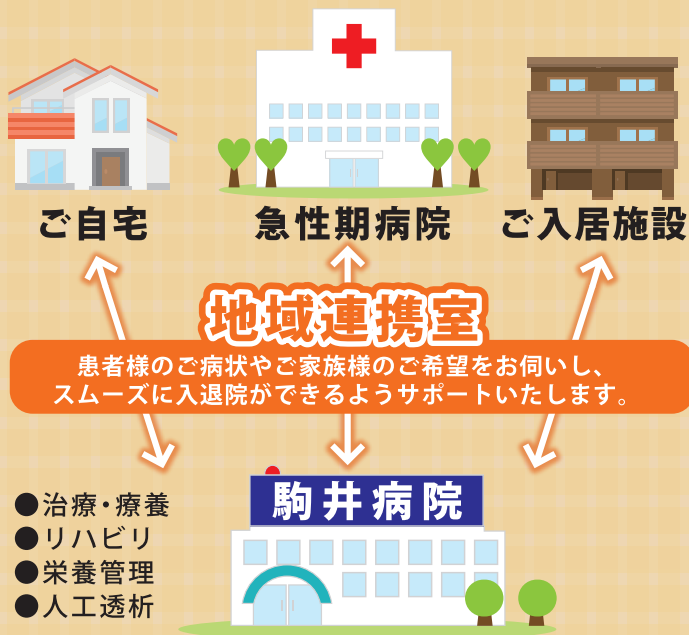
地域連携室では、入院・転院のご相談はもちろん、介護施設入所・各種制度ご利用などのご相談にもお乗りしています。どうぞお気軽にお問い合わせください。

代表電話
よりも早い!

地域連携室 直通番号

☎ 027-352-6100

メールでのお問い合わせ ▶ renkei@komai-hp.com



■ 基本理念

やさしさに出会う医療を
やすらぎに出会う医療を
そして
生きがいに出会う医療を

■ 基本方針

1. 私たちは、人間の尊厳を大切に、患者様の立場に立った、信頼を得る医療を提供します。
2. 私たちは、高齢者医療専門機関として、誠実で安心な医療・看護・介護サービスを実践します。
3. 私たちは、社会人としての倫理観を持ち、医療の質向上のため研鑽を積み、地域や組織に貢献します。
4. 私たちは、地域の人々の支えとなる慢性期医療機関としての役割を実践し、地域包括ケアシステムの一翼を担います。